



編集・発行 落合第一地区協議会：03（3951）9196（落合第一特別出張所内）
平成21年9月24日 発行

特集：第1回「みどりの座談会」開催

まず一步！あなたとつくるみどりのまち



左は「みどりの座談会」
（7月17日開催）の様子。
（財）都市緑化基金の
上野氏からスライドで
外国の先進事例のレクチャー
を受けているところ。

前回の「みどりの風」第5号では、「みどりを豊かにするためにできることは？」を特集テーマとし、地域団体の活動や、区の政策をご紹介しました。

地区協議会（以下、地区協）はいままで、マンションの建築などで消えゆくみどりを守るためのルールをつくるべく、地区計画の策定に取り組んできましたが、一方で、前回の特集で取り上げた「花植え隊」が取り組んでいるような、みどりを豊かにしていくための地道な活動も重要だということを再確認しました。

そこで・・・

今回は地道な活動を進めていくための議論をさらに深める目的で、みどりの活動に取り組む地域団体、区役所、専門家の方々をお招きし、第1回「みどりの座談会」を開催。今回の特集では、そこから得られた課題や提案をお伝えします。

特集：第1回「みどりの座談会」開催

地域団体の活動と問題提起

第1回「みどりの座談会」では、地域団体の方々から現在の取り組みとその課題について語っていただいた後、専門家と区の方々を交えて意見交換を行いました。

本特集では、この座談会で出された参加者の意見をまとめてお伝えします。



花植え隊

森山崇氏（左）と小野勢津子氏（右）

森山氏 小野氏

●現在は目白通りに、歩行者の邪魔にならない範囲でプランターを置いて、ゴーヤを育てている。

●補助金の使い勝手が悪い。

例）東京都公園協会から、目白通りのイチヨウの木の植込みの下を整備を助成するというお話をいただいたが、花代は補助の対象外とのこと。

→それだけの広さに花を植えるのは大変。

●目白通りのイチヨウの木の下は根が表面に出ていて何かを植えるのは難しい。

→1つのプランターに花3つぐらいであれば、きれいに置いていくことができるが、警察署から許可をもらえばできるのか？

●足立区では防火用に貯めた雨水が使えるポンプを、花の水やりにも使ってくださいということになっている。目白通りでは商店会の方々が水をやっている状況で、そうしたポンプがあればやればやりやすい。

加藤氏 平林氏

●おとめ山公園と野鳥の森公園のそうじに取り組んでいる。

→毎週木曜と日曜（9時～10時半ぐらい）活動しているが、落葉が多い時は11時半ぐらいまでかかる。

●問題はそうじをしてくれる人がなかなか集まらず、世代交代が進んでいかないこと。

→若い人が1、2度参加しても続いていかない。



落合の緑と自然を守る会

加藤雄志氏（左）と

おとめ山の自然を守る会

平林薫氏（右）

特集：第1回「みどりの座談会」開催



落合第二小学校スクール コーディネーター

高山浩一氏（左）と

落合第四小学校PTA

大嶋英二氏（右）

大嶋氏

- 落合第四小学校では花植え隊と一緒に「花咲き通り」等に花を植えている。
- 子供が通る場所に花や緑があることはとてもいいことだと思う。

高山氏

- 落合第二小学校では「上落合花いっぱい運動」（23年前にPTAが立ち上げたことがきっかけ）を行っている。
- 学校の総合学習として、小学4年生と地域の長寿会のメンバーで春と秋に花の植え替えをしている。
- 最盛期には下落合駅から早稲田通りまで120個ぐらいのプランターを並べていたが、いまは生徒数が減ったため、60個程度。
- 問題は、子供たちは花を植える時は楽しんでやるが、水やりなどの手入れは長寿会が中心。
- 面倒の見方まで教えていかないとけない。
- 図面を書いたりしなければならぬ申請書を出して、毎年毎年、警察に道路占用許可をもらうのが一番大変。
- 担当の人が毎年代わるので、説明して許可を得るまで6回も警察署に行ったことがある。
- 幼稚園だった土地に「落合の里」として、田んぼや畑をつくった。
- これもつくった当初はいいが、メンテナンスをどうしていくかが課題。また、校長がかわると意識がかわるので、地域がある程度長期的に見ていく必要がある。
- 学校の中に一般の人が入れないのは問題。

伊藤氏

- 売り出し期間の中でお花を配布している。
- 1人1人に残るものをお渡ししたいということで、都と区からの助成を受け、行っている。
- 83本ある街路灯を造花で飾っている（春はサクラ、冬はクリスマスらしいものなど）。
- 道路にプランターを置くための警察の許可が厳しいのであれば、ふじ棚にするのも1つではないか。



中井商店会

伊藤芳弘氏

特集：第1回「みどりの座談会」開催

専門家と新宿区からのコメント



(財)都市緑化基金

(企業から基金をため、民有地の緑化を支援したり、緑化政策の研究を行う財団法人)

上野芳裕氏

上野氏はスライドでヨーロッパの事例や日本の事例をわかりやすく解説。その後、日本の商店街の事例をDVDを観ながら説明してくださいました。

上野氏

●市民が考えたことをデザイナー等に絵にしてもらうと、全体としての町のイメージを共有することができる。

●苗を買うと高いが、種であれば安い
→種から育てるとうまく育つのは3、4割と言われている。

→講習会をやれば7、8割は育つ。

●最初はできる場所を探し、そこから始めるのが有効な手段。

→その活動が定着して、行政にも理解され、一般にも理解されてくると、それらの活動が広がってくる。

●子供が関わるイベントをやれば親も参加する。そういうところから関心をもってもらうことが大事ではないか。

小菅氏

●新宿区のみどりのうち55%が民有地。このみどりを守り、増やすことが重要。
→落合は新宿の中でも一番民有地が残されているところ。

→個々の取り組みも重要だが、次の世代に残せる緑をどう残すかという観点からも、地域全体の緑をどうしていくかを考えもらいたい。

●花の種であれば、次の機会にでも配ることは可能。

→昔は新宿区も花の苗を配っていたが、単なるバラマキになるので廃止し、地域ぐるみでの取り組みを支援する方向に変えた。



新宿区みどり公園課 みどりの係長

小菅健嗣氏

まとめると・・・

みどりに取り組む地域団体の課題

➤ **プランター問題**

プランターを道路に置きたいが警察の規制で置けない、あるいは置けたとしても手続きが面倒な状況をいかに克服すべきか。

➤ **人材不足問題**

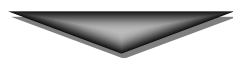
みどりに関心をもって活動に参加する人がまだまだ少ない。

➤ **水やり問題**

雨水を利用したポンプなどがないと、個人の負担が大きすぎる。

➤ **メンテナンス問題**

草花を植えるときは楽しんで取り組めるが、手入れを継続していくことについては関心が薄くなりがち。



専門家・区の提案

➤ **まずは地域全体で、できる場所を探すことから**

道路にプランターを置くことは基本的に難しい。地域全体でまずできること、できる場所を探し、成功モデルをつくり、広げていく。

➤ **デザイン人材の協力も得て絵を描く**

どのようなみどりの姿にしたいのかを考え、それを絵にしてもらえばイメージを共有できる。

➤ **種からでも育てられるように講習の実施を**

種は区が提供することが可能。講習を受ければ花まで育つ率が上がる。

➤ **子供が関心をもつイベントの開催を**

親も参加するので、みどりに関心をもってもらえるきっかけをつくる。

みどりの座談会、いかがでしたでしょうか。色々な課題もありますが、地区協議会ではこれからも「みどり豊かな町づくり」のために、継続的に活動していくつもりであります。

落二小 落合の里で田植え体験！



田植えを楽しむ小学生

落合第二小学校には「落合の里・ふるさと園」があります。

雨水をたくわえ「落合」の地名の由来ともなっている、神田川と妙正寺川を模したせせらぎを造り、水田・池・野草園・栽培園などに利用しています。

水田では、山形県の飯豊町より3名の方にお出いただき、5年生の授業の一環として6月3日に田植えを行いました。「はえぬき」

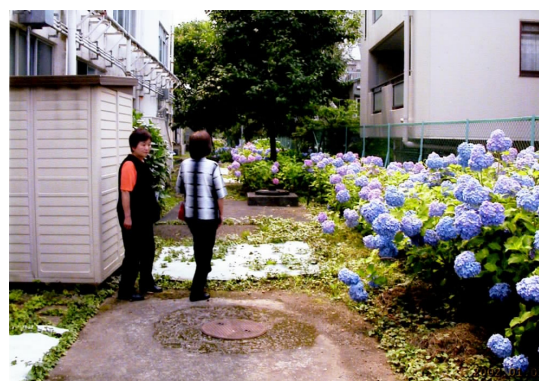
の苗を7～8本ずつ手に取り、15cm(株間)間隔に植えて行く子どもたちの表情は初めてのことに嬉々としていました。青々とした稲が黄金色に色づく秋には、自分たちの手で収穫をして、学校で食べるそうです。

栽培園では、じゃがいもの葉も大きく育ち、これも収穫を待っているようでした。

また、校舎の裏側には、梶田前校長と6年生の給食交流での会話から生まれた、紫陽花（あじさい）の小道と呼ばれる場所があります。季節になると150株余の紫陽花が、校舎裏に競うように咲く様子には思わず声を上げてしまったほどでした。

落合第二小学校のこの取り組みには、校長先生をはじめとした教職員の方々のご尽力は勿論ですが、在学中の児童・同窓会・保護者・町会等地域がひとつになり、行政にもご助力いただき、この様に素晴らしい「落合の里・ふるさと園」や「あじさいの小道」が現在に至ったとのことでした。在学中の児童は勿論ですが、卒業生や地域の方々にとっても心に残る、大きな財産と言えるのではないのでしょうか。

私たちの住む落合を「みどり豊かな」町にするために、まず出来る事から少しずつでも始めてみようではありませんか。



落二小 落合の里（写真上）
あじさいの小道（写真下）

地区協議会 ちくきょう活動報告

安心

1. 安全安心『こどもを守るまち』プレート完成！

地区協 安全・安心 PT のスローガンのプレートが出来ました。

地区協では、従来より、学校・地域団体と協力し、通学路に安全ガードレールを設置、危険通学路に注意看板を設置するなど、子ども達の安全・安心に関する色々な問題をとりあげ、解決に向け取り組んでまいりました。



PT では現在、地域の「子どもの安全・安心マップ」を企画作成中ですが、子ども達にとってより一層安心な町を目指す中で、安全・安心対策の視線を地域の皆様と共有するため、プレートを作成いたしました。

「みんなで広げよう安心・安全の輪」

プレートは自転車のカゴに付けることもできますし、塀や壁にも付けられます。地域をこのプレートでいっぱいになりたいと思います。

プレートをご希望の方は、出張所：関口までお申し出ください。（無料）

2. 子どものための自転車教室 お手伝いに行ってきました！



6月27日、土曜日、午後2時から4時ごろまで、落合第四小学校で自転車走行講習会が開催されました。主催は PTA で、戸塚警察署の協力のもと、小学生たちに、正しい自転車の乗り方を、校庭で実際に自転車に乗りながら教えていく講習会です。（落合第一小学校、落合第二小学校でも同様の講習会が実施され、そちらもお手伝いさせていただきました。）

自由参加でしたが、たくさんの小学生が集まって、熱心に講習を受けていました。警察の方や校長先生が、「くれぐれもこの訓練が終わって、表に出て帰るまで事故に会わないで下さいね。自転車が危険な乗り物だということをわかって下さいね」と言われた言葉が印象的でした。当地区協議会としては、自転車走行キャンペーンなどの活動を通じて、安全な自転車走行を訴えて行くとともに、PTA や警察に協力して、今後も講習会に参加して行きたいと思います。

地区協フェスタ開催！！

平成21年11月14日（土）午後1時から
落合第一地域センターで地区協フェスタを開催します。

- | | | |
|----|--------------------------------------|-----------------------|
| 1階 | ・3人乗り自転車の試乗 | ・焼いも販売 |
| 3階 | ・地区協議会の活動紹介 | ・災害時アルファ米の炊出し(14:30～) |
| | ・ふるさと落合DVD上映 | ・スワンのパン販売 ・みんなの木 |
| 4階 | ・いきいき体操(13:00～) | ・大声コンテスト(13:30～) |
| | ・落語(13:30～14:30) | ・紙芝居(14:30～) |
| | ・みんなで知ろう落合の自治&沼田市朝どり野菜オークション(14:30～) | |
| | ・みどりの写真展（写真募集中！！ 10/30締切） | |

みどりの写真展で展示する写真を募集しています。

テーマは「我が家のみどり、落合のみどり」・・・です。

ご自宅の庭の緑、ベランダの緑、公園の緑など、色んな緑の風景をお待ちしています。

詳細は、ポスターまたは地区協ホームページをご覧ください。落合第一特別出張所までお問い合わせください。（出張所：03-3951-9196 新川・関口）

編集後記

うろこ雲が空に広がり、さわやかな風に秋を感じる季節になりました。

さて、地区協広報PT主催の「第一回みどりの座談会」が開催されました。この地域に花とみどりを増やそうと一生懸命に活動している方々の真剣な思いが地域の人々に浸透して行き、落合が「みどり豊かなまち」になれるように第2回、3回と座談会を開催して行きたいと思います。

約10年前に新築で入居した時、マンションの裏手にある金木犀の木はまだ小さくて、おまけに手入れが悪く3年間花が咲きませんでした。園芸店を変えたりしましたが、うまく咲かず、意を決して私が面倒をみることにしました。見始めて1年目、土を足したりして大切に育てたら、枝葉がグングン伸びてきました。そして入居から6年目。ついに8本の金木犀が一斉に花を咲かせました。その時の感動は今も忘れません。可憐なオレンジ色の花、そしてあの甘い香り。それから毎年必ず秋には咲くようになりました。

マンション裏の金木犀が咲いている坂を密かに「木犀坂」と名付けて楽しんでいます。

皆様も、密かな楽しみの為に、花や木を大切にしてみてはいかがでしょうか？小さな事から始めれば案外簡単なものです。まずは一歩を。

